

『診療報酬引き上げと、窓口負担軽減を求める』

医師・歯科医師署名にご協力を

11月28日（木）に国会議員・各省庁に提出します！！
ご署名（ゴム印でも結構です）いただき、ご返信をお願い致します。

兵庫県保険医協会 宛

返信FAX 078-393-1802

内閣総理大臣 殿
厚生労働大臣 殿
財務大臣 殿
国会議員 各位

2019年 月 日

診療報酬の引き上げと患者窓口負担の軽減を求める

医師・歯科医師要請署名

診療報酬は、公的医療保険で受けられる医療の内容を規定するとともに、医師・歯科医師をはじめとする医療従事者の確保、医療機器・設備の維持、更新等に使われています。医療の質・安全の確保、より良い医療を提供していくためには、診療報酬の引き上げが不可欠です。

しかし、2002～08年にかけての4回のマイナス改定、2014～18年の3回のマイナス改定で、引き下げ幅は累計10%以上にのぼり、地域医療を支える現場は疲弊し続けています。

加えて、「働き方改革」に伴う人件費増や物価上昇への対応等を考慮すると、次期診療報酬改定では10%以上の大幅な引き上げが必要です。

全国保険医団体連合会が2015年に会員医療機関を対象に実施した調査では、約4割が「患者さんの経済的理由による治療中断」を経験していました。今でも重い患者負担が患者さんに受診抑制を強めています。政府は今後も「75歳以上の窓口負担原則2割化」、「痛み止めなど薬の保険はずし」などの患者負担増を計画しています。これ以上の患者負担増、給付削減は患者さんの受診抑制を深刻化させ、国民の健康、そして命を脅かします。

私たち医師・歯科医師は、以下の事項を要望いたします。

記

一、国民に安全、安心で、必要な医療を提供するため、基本診療料（初・再診料、入院基本料など）と基礎的技術料を中心に、診療報酬を10%以上引き上げること

一、新たな患者負担増の計画は中止し、患者窓口負担を軽減すること

以上

私の一言

住 所：

医療機関名：

氏 名：

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース No. 255 2019年11月25日



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 正木茂博

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1807 FAX/078-393-1802

西播社保協で自治体キャラバンを開始

社会保障の改善を各自治体へ要請

姫路・西播支部も参加する西播社会保障推進協議会（西播社保協）が毎年秋に行う自治体キャラバン（自治体訪問）が始まった。11月14～22日の5日間に姫路・西播地域の全5市6町を訪問する。14日～19日のキャラバンの様子を報告する。

自治体キャラバンは、県下の市町に社会保障改善を求める要望書を提出し、各自治体首長や職員と懇談を行うもの。昨年も全市町と懇談し、国保改善や子ども医療費助成拡大などの改善を求めた。その成果として、今年度、宍粟市、市川町、福崎町でこれまで中学3年生までとされていた年齢制限が高校3年生まで拡大され、宍粟市では入院・通院とも無料となるなど、大きな制度改善を得ている。



宍粟市の担当者に対し社会保障の充実を訴える参加者

11月14日には相生市とたつの市を、15日には赤穂市と上郡町を訪問し、各市町の担当者と懇談した。西播社保協からの「国保への国庫負担を増やし保険料を下げしてほしい」という要望に、上郡町の担当者は「低所得者の負担を減らすために繰り入れを増やすと他の施策の財源がなくなる。国へも要望しない」とした。たつの市では、今年度より新たに75歳以上の方に歯科検診を無料で実施していることが分かった。また赤穂市では「国に対し、福祉医療

費助成に伴う国庫負担の減額を止めるよう要望している。地方自治体の努力を国が阻害してはいけないという観点からだ」という回答があった。

参加者からは「生活保護は冬季加算だけでなく夏季加算も国に要望すべき」「来年度からは各市町が相互に情報が交換できるよう、回答文を全市町に送信できるようにしたい」などの感想が出された。

ラジオ関西「医療知ろう！」コーナーに姫路・西播支部の先生が出演

「心臓リハビリ」市民に分かりやすく解説

ラジオ関西番組「寺谷一紀と！い・しょく・じゅう」内の協会提供コーナー「医療知ろう！」に、姫路・西播支部から北村アキ先生（姫路市・あき循環器心臓リハビリクリニック院長）が出演する。

北村先生の出演は11月27日。「心臓リハビリって何？」をテーマに、心臓リハビリの目的と方法、効果について具体例を交えながら分かりやすく解説する。



心臓リハビリについて語る北村アキ先生（中央）

※当日の様子は、放送終了後も番組ブログ <https://jocr.jp/isyokuju/> や協会ホームページ <http://www.hhk.jp/topics/2019/1003-090000.php> から動画でご覧いただけます。

ラジオ関西 寺谷一紀と い・しょく・じゅう「医療知ろう」 毎週木曜日放送 19時40分頃から10～15分



出演者の元SKE48 犬塚あさなさん

今後の出演予定

放送日	テーマ	地区	出演者
11/28（木）	心臓リハビリって何？	姫路市	北村アキ先生
12/5（木）	皮膚に良い光・空気、皮膚に悪い光・空気	神戸市	加茂統良先生
12/12（木）	糖尿病、認知症と歯科の関わり	神戸市	坂口智計先生
12/19（木）	白内障の治療法	神戸市	山中昭文先生

政策研究会

超高額薬価の問題点と 保団連の取り組みについて

日時 2020年1月11日（土）16時～
会場 協会5階会議室
講師 保団連理事・政策部長
岐阜県保険医協会副会長
竹田 智雄先生

医療保険財政を圧迫するとの懸念も強く示されている超高額薬の問題について全国保険医団体連合会で政策部長として超高額薬価問題に取り組んでこられた、竹田智雄先生にご講演いただきます。ぜひご参加ください。

参加お申し込み・お問い合わせは、
☎078-393-1807まで

融資部より

京都銀行提携融資制度

特別金利キャンペーン実施中！

協会と京都銀行の提携融資制度は、期間限定の特別金利キャンペーンを実施しています（2020年3月末申込分まで）。通常より年0.4%優遇金利となります。借り換えも可能、手数料も通常より優遇していますので、ぜひご利用ください。

2019年11月1日現在

資金種類	利率	限度額
運転資金	1.075% → 0.675%	1000万円
設備資金	1.075% → 0.675%	1億3000万円
新規開業資金	1.275% → 0.875%	6000万円
子弟教育資金	1.275% → 0.875%	3000万円

※1000万円までは原則、担保不要
※歯科は+0.2%、新長期プライムレート連動
※診療報酬振込口座の社保・国保いずれか片方指定

まずはお気軽にお問い合わせください。☎078-393-1805 融資部まで

協会第96回評議員会

支部の運動で子ども医療費助成が拡充



発言する宇野千里評議員

協会は11月17日、協会会議室にて第96回評議員会を開催し、評議員31人を含む101人が出席した。姫路・西播支部からは宇野千里評議員が出席し、子ども医療費助成の拡充や、支部企画の開催などについて発言した。記念講演では、立命館大学産業社会学部の唐鎌直義先生が、「高齢者の生活実態と社会保障制度の課題」と題して記念講演を行い、高齢者世帯の収入が低下していることや消費税の逆進性が大きな打撃になっていることを報告。社会保障を「貧困救済型に転換すること」を訴えた。以下、宇野評議員の発言を紹介する。

姫路・西播支部では毎月幹事会を開催し、情勢議論や支部の研究会等の企画について議論を行っている。

この間、8月31日に、第34回支部総会を開催。記念企画として田中雄司税理士を講師に「医院の閉院・継承・相続の手続き」を行い、医師・歯科医師ら34人が参加した。参加者がとても多く、質問も積極的に出され、この問題への関心の高さがうかがわれた。継承や相続にあたってはその都度専門家に相談することが必要なのではないかと感じた。

6月22日には、医療安全管理研修会「外来における院内感染対策」を姫路赤十字病院感染管理認定看護師である八瀬和佳恵氏を講師に開催。49人が参加した。大変好評で、参加者からは「アルコール消毒について、自分の思いこみでやっていたので、正しいやり方がよく分かった」「手指衛生の大切さ、有効性を改めて感じた」などの感想が寄せられた。

支部では、会長を正木支部長が務めている西播社会保障推進協議会を通じて、地域住民や市



活発な討議が行われた第96回評議員会

民団体と協力して社会保障制度改善の運動を行っている。9月7日に姫路労働会館において行った第29回総会では「国保のいまとこれから」というテーマで、協会副理事長の川西敏雄先生にご講演いただき、39人が参加した。また、子ども医療費助成制度の充実について、社保協が、これまで自治体に働きかけてきたことなどが実り、宍粟市、市川町、福崎町でこれまでの中学3年生までとされていた年齢制限が高校3年生まで拡大された。

来期は、臨床研究会や医院経営研究会の開催を幹事会で検討している。今後も引き続き、会員の要求に沿った、多彩な企画を検討していきたい。